



本市では、令和6年度から令和8年度までの3年間、上田小学校区（上田小学校・上田こども園・あゆみ保育園・へいわだい認定こども園）を架け橋プログラムのモデル校区とし、保幼こ小の架け橋期の教育の充実をめざしています。この通信では、モデル校区の取組を紹介していきます。

保幼こ小で情報共有

4月8日 入学前情報交換会

上田小学校区では、小学校入学前に校区の職員同士で集まって入学前情報交換会を行いました。校区におけるめざす子ども像の確認や、子ども達が安心して小学校生活を過ごしていけるような環境づくりについて話し合い、教室やワークスペースの活用について意見を伝え合ったり、年間計画などの確認を行ったりしました。



子どもの姿を共有する



環境構成及び双方での取組・工夫を伝え合う

4月15日 スタカリ期訪問及び情報交換会

子どもの姿を話し合う



上田小学校区では、子どもたちが入学して2日目に校区の就学前施設職員が授業や子どもたちの様子を参観し、午後から情報交換会をしました。

情報交換会では、授業参観から見てきた子どもの姿を中心に話し合いを行いました。

1学年の先生方が授業での意図や工夫していること、就学前施設からは子ども達の成長の様子等を伝え合う姿が見られました。

4月15日 スタカリ期訪問及び情報交換会

子どもの姿を話し合う

1年生の様子を参観



情報交換会の様子



授業の姿も共有しました



6月27日 上田小学校公開授業及び合同研修会

参観・職員間で語り合い

当日の公開授業では、生活科や音楽科を参観しました。参観後の合同研修会では、大里南小学校校長の與儀毅先生を講師にお招きし、「幼児期の学びを小学校へつなぐ」をテーマに、上田小校区の職員へ助言をいただきました。事例や講話をもとにした職員間での語り合いでは、お互いの思い等を伝え合う様子が見られました。



通信は、豊見城市 HP に掲載しています。

豊見城市幼児教育センター

